



碧の風

千葉市立川戸中学校
校報 第4号
令和4年7月13日

夏休み前の熱戦

校長 板垣 章子

先日、小中一貫教育の活動として、「算数・数学の学び合い学習」を行いました。川戸小の6年生が中学校に来て、中学2年生から算数の勉強を教えてもらうという活動です。小学生が「計算」「図形」「文章問題」からコースを選んでプリントの問題を解き、中学生が丸付けをしたり間違った問題について解説してあげたりする、という内容のものでした。ほぼマンツーマンで学習するため、はじめは少し緊張した面持ちでしたが、集中して頑張る小学生に対して優しく中学生が説明してあげている姿が、あちらこちらで見られました。算数は小学校の高学年から苦手意識を持つ児童が増える教科なので、このような学習を通して算数・数学好きの子供たちが増えてくれればよいと思います。中学生にとっても、分数や図形、割合の問題など、よい復習になったようでした。

さて、暑い日差しの中、千葉市中学校総合体育大会が始まりました。7月9、10日の土日には、千葉市内の至る所で中学生の堂々としたプレー、熱い戦いが繰り広げられていました。本校の生徒もすでにいくつかの試合に挑み、練習の成果を発揮して頑張っていました。次のステージに残っているチーム、健闘むなしく苦杯をなめたチームなど、現在の生徒たちの状況はさまざまです。それでも生徒にとって、特に3年生にとっては、多くの時間とエネルギーを費やしてきた部活動が、文化系の部も含め、心身の成長を大きく支えたことに間違いはありません。今週末からも、いくつかの部の挑戦は続きます。それぞれの会場で、川戸のゼッケンを付けた生徒たちが、精一杯の力を発揮してくれることを祈ります。

ニュースでは、新型コロナウイルスが第7波に入っていると伝えていきます。早い梅雨明けと猛暑日の連続、戻り梅雨のような不安定な天気などで、体調管理がこれまで以上に難しくなっています。これから長い夏休みが始まりますが、ご家庭においても健康に留意しながら、有意義で楽しい時間をお過ごしください。